

第1章 本市の概要

1 位置概要

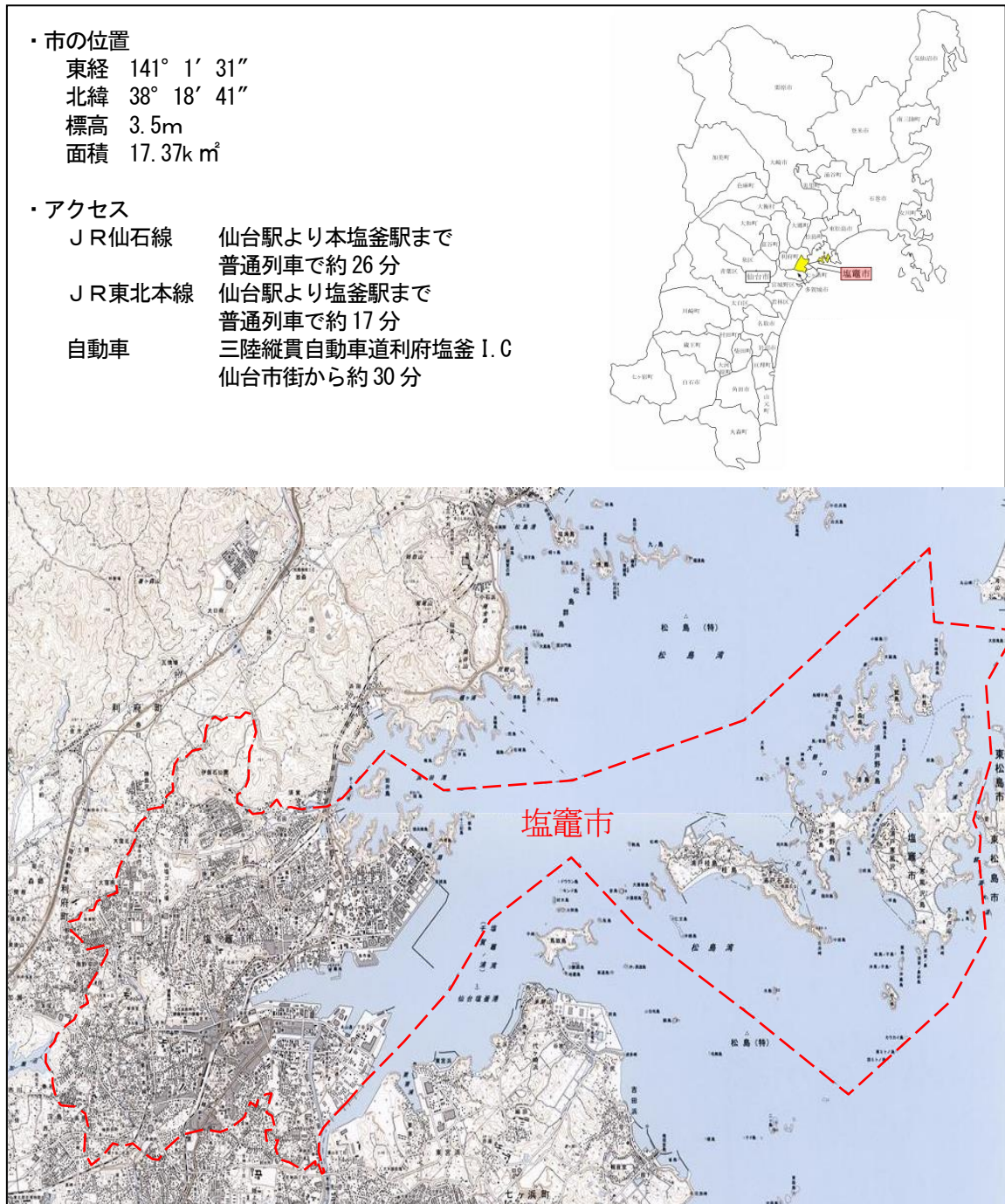
2 自然環境

3 社会環境

1 位置概要

塩竈市は、宮城県のほぼ中央、仙台市より北東へ16kmに位置し、南は多賀城市及び七ヶ浜町に、西及び北は利府町に接しています。東は、日本三景で知られる松島湾、また島嶼※部（浦戸地区）は、海峡を隔てて東松島市宮戸島に接しています。市域面積は17.37km²で、宮城県内市町村の中で七ヶ浜町に次ぐ2番目に狭い面積となっています。

〔塩竈市位置図〕



※島嶼／小さな島々のこと。環境基本計画では、越の浦と浦戸諸島をあわせて島嶼部としている。

2 自然環境

(1) 地形・地質

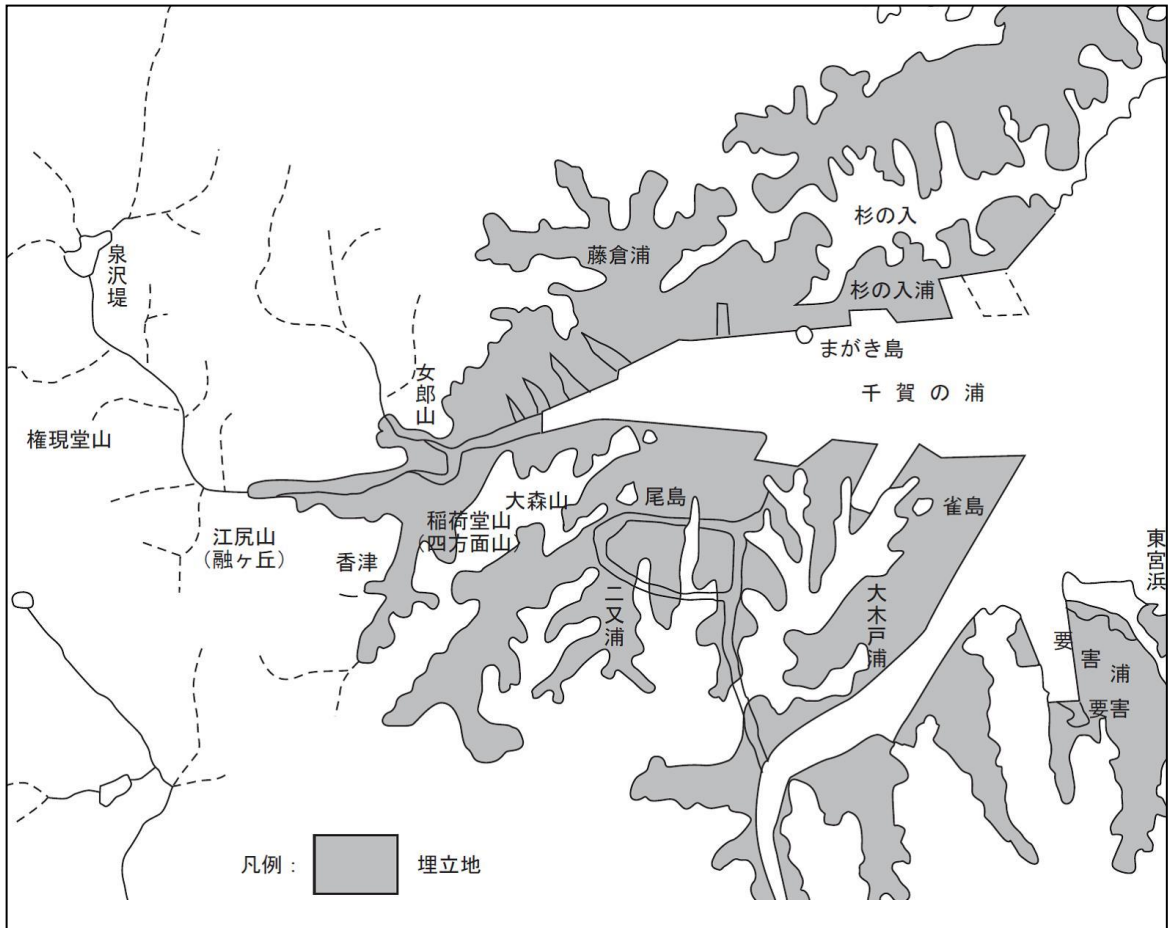
塩竈市の西部、南部、北部は起伏に富んだ丘陵地帯で、中央部の平地を囲み、東部の港湾に口を開いた袋状の地形をしており、市の中央部をはじめ平地のほとんどは埋立てによるもので、現在では埋立地が市街地の60%にも達しています。

元来は複雑に入り組んだ沈降性海岸地形で、随所に切り立った崖が見られます。

丘陵地帯は、薄い表土で覆われた凝灰岩質からなる軟岩で、丘陵の宅地造成、低地の埋立ては同土質で形成されているため、低地帯では地下水位が高く潮の干満の影響を受けています。

また、飲用に適した湧水や隣接する地区からの河川流入がほとんどないため、上水道を遠方より導入し、さらには、丘陵地帯の宅地化等に伴う保水・遊水能力の低下と、埋立地の地盤沈下による内水排除の困難等により、大雨時には低地へ雨水が集中流入し水害が発生しやすいため、市では総合的な治水対策を実施しています。

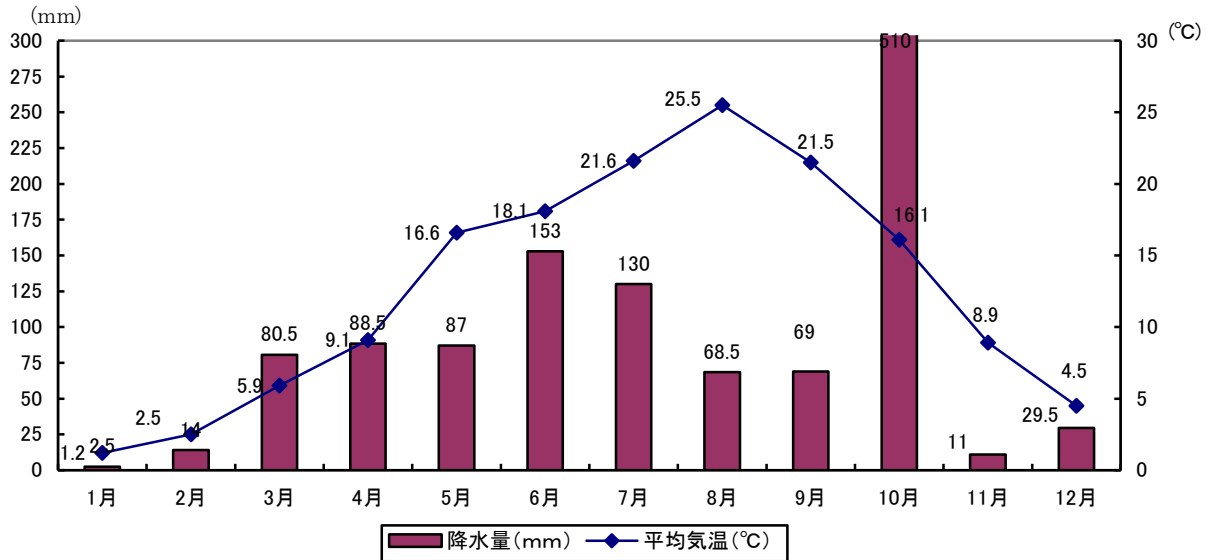
〔埋立状況〕



(2) 気候

塩竈市の気候は、海に面しているため海流の影響を大きく受けるとともに、背後が丘陵地であるため冬は比較的温暖であり、夏の気温も比較的低い海洋性気候となっていますが、東に開いた地形のため、夏季には季節風が比較的強くなっています。

〔令和元年月別平均気温及び降水量〕



◆年次別気象概況(塩釜地域観測所(梅の宮浄水場敷地内))

区分		27年	28年	29年	30年	令和元年
気 温	最高(°C)	35.8	33.8	34.0	35.0	34.8
	最低(°C)	-5.6	-4.5	-6.8	-8.0	-5.3
	平均(°C)	11.4	12.5	11.9	12.6	12.6
降 水 量	総量(mm)	1,188.0	1,004.5	1,146.0	1,016.5	1,243.5
平 均 風 速	(m/s)	2.5	2.5	2.4	2.5	2.5
日 照 時 間	総量(hr)	1,719.5	1,895.5	1,897.7	1,953.1	2019.7

◆年次月別平均気温及び降水量の状況

区分	27年		28年		29年		30年		令和元年	
	平均気温(°C)	降水量(mm)	平均気温(°C)	降水量(mm)	平均気温(°C)	降水量(mm)	平均気温(°C)	降水量(mm)	平均気温(°C)	降水量(mm)
1月	0.6	33.7	1.4	64.0	1.4	9.5	0.3	47.5	1.2	2.5
2月	0.9	37.0	2.3	16.0	1.9	15.5	0.2	21.0	2.5	14.0
3月	3.8	67.3	5.9	9.0	4.2	70.0	6.6	115.0	5.9	80.5
4月	9.3	99.4	10.8	153.5	10.5	91.5	11.4	36.0	9.1	88.5
5月	14.0	103.3	16.0	75.5	16.0	122.5	15.9	101.0	16.6	87.0
6月	17.6	136.3	19.0	144.0	17.5	94.0	19.2	69.0	18.1	153.0
7月	21.2	169.9	22.2	49.0	24.2	150.0	24.5	64.0	21.6	130.0
8月	23.2	143.7	24.7	180.5	22.2	189.0	24.1	255.0	25.5	68.5
9月	19.8	175.5	21.3	216.0	20.1	127.5	20.0	162.5	21.5	69.0
10月	14.3	121.6	14.6	25.0	14.1	262.5	15.7	61.0	16.1	510.0
11月	8.5	67.1	7.5	39.0	8.2	8.5	9.8	48.5	8.9	11.0
12月	3.5	33.1	4.7	33.0	2.4	5.5	3.2	36.0	4.5	29.5
平均	11.4	98.9	12.5	83.7	11.9	95.5	12.6	84.7	12.6	103.6

(資料) 仙台管区気象台

(3) 湖沼・河川

市西部には、多賀城市と利府町にまたがる市唯一の湖沼「加瀬沼」があり、昭和48年に付近一帯を含め、宮城県の緑地環境保全地域※に指定され、県都市公園※「加瀬沼公園」として利用されています。

また、市内には大きな河川はないものの、都市下水路的な小河川である新町川、宮町川、庚塚川、石田川があります。

(4) 動植物の分布

① 加瀬沼周辺

加瀬沼周辺には、クリやコナラ林が多く、モミ・アカマツ・スギ林などが随所に分布し、一年を通じてエナガ・シジュウカラ・ホオジロ・ヒヨドリなどが見られ、冬にはオオハクチョウ・マガモ・オナガガモ・ユリカモメなどが観察されます。

また、県内では希少なガガブタ・ヒメシロアサザといった水生植物が残されています。

② 鹽竈神社周辺

市のほぼ中央部に位置する鹽竈神社には、スギ林や多羅葉(宮城県天然記念物)をはじめ、自生・植栽あわせて五百種に及ぶ植物があり、中でも鹽竈桜は国の天然記念物並びに「市の木」として指定されています。

また、キジバト・セキレイ・ウグイスなどの鳥類も数多く観察されています。

③ 浦戸地区

松島湾の一角をなす浦戸諸島には、アカマツ林やクロマツ林が分布しており、キジ・ノウサギ、さらには大型哺乳類のタヌキの生息も観察されています。

※宮城県の緑地環境保全地域/県自然環境保全地域以外の区域で樹林地、池沼等特に良好な自然環境を形成し、都市環境又は都市構成上その存在が必要と認められる区域でその面積が規則で定める面積以上のものうち、自然的社会的諸条件からみてその区域における自然環境を保全することが当該地域の良好な生活環境の維持に資する地域。

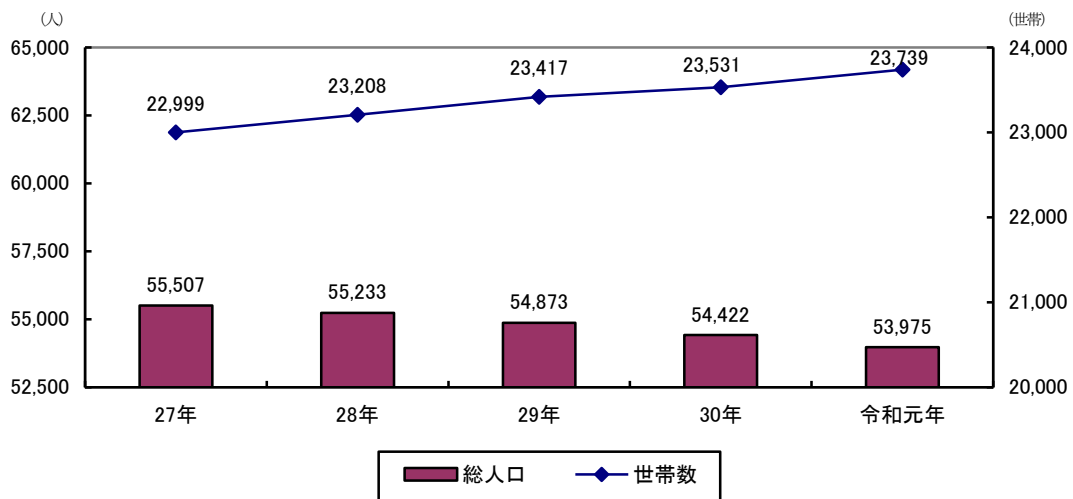
※都市公園/都市公園法に基づき、国や地方自治体が設置する市民の休養・運動に供する公園または緑地のこと。

3 社会環境

(1) 人口・世帯数

塩竈市の人口については、近年、本土、浦戸ともに減少傾向が続いており、令和元年12月末に53,975人となっています。また、世帯数については微増傾向にあり、令和元年12月末に23,739世帯となっています。このうち、本土の世帯数は、微増傾向にありますが、浦戸では減少が続いています。更に、少子高齢化の傾向にあります。

〔人口・世帯数の推移〕(住民基本台帳 各年12月末現在)



区分		平成27年	28年	29年	30年	令和元年
人口	総数	55,507	55,233	54,873	54,422	53,975
	(内浦戸)	384	361	341	329	321
	男	26,511	26,403	26,192	26,011	25,819
	女	28,996	28,830	28,681	28,411	28,156
世帯	世帯数	22,999	23,208	23,417	23,531	23,739
	(内浦戸)	191	189	183	177	176

(資料)住民基本台帳

(2) 土地利用

地目別の土地利用は、宅地が全体の約40%を占め、田・畑等の農地や山林・原野等の自然的土地利用面積を大きく上回っています。

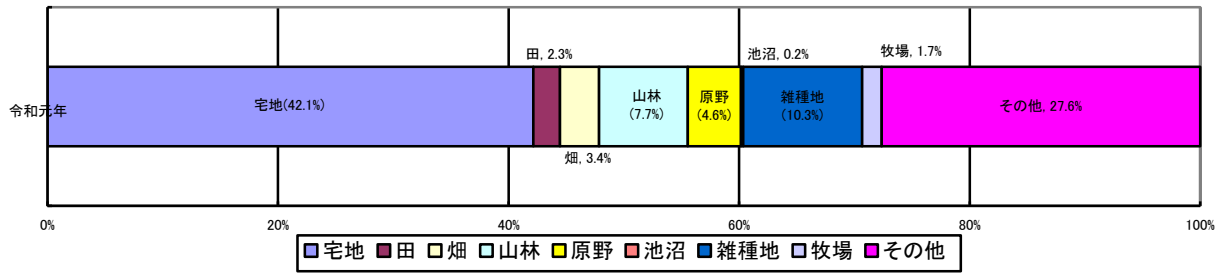
市内の土地利用規制については、赤崎地区、鹽竈神社社寺林(一森山)、桂島・野々島・寒風沢・朴島の浦戸諸島では風致保安林※に指定されており、さらに浦戸諸島は、国の特別名勝と県立自然公園※に指定され、土地の改変や開発行為等に規制がかかっています。

また、加瀬沼とその一帯周辺は、宮城県緑地環境保全地域に指定されています。

※風致保安林／社寺・名所・旧跡の景観や自然景観を維持するために、森林の伐採などの制限をおこなっている森林のこと。

※県立自然公園／優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図り、県民の保健・休養及び教化に資することを目的として、県が指定するもの。土地の所有の如何にかかわらず区域を画して指定される公園のこと。

[地目別土地利用割合]



◆地目別土地利用状況の推移(各年1月1日現在) (単位:ha)

区分	平成27年	28年	29年	30年	令和元年
宅地	720.2	725.3	727.3	727.3	731.4
田	40.9	40.9	40.9	40.9	40.8
畑	61.0	60.4	60.3	60.3	59.9
山林	135.1	134.1	134.1	134.1	133.8
原野	82.0	81.3	81.2	81.2	80.6
池沼	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0
雑種地	185.9	181.6	179.4	179.4	179.4
牧場	28.7	28.7	28.7	28.7	28.7
その他	480.0	481.6	482.0	482.0	479.4
合計	1,737.0	1,737.0	1,737.0	1,737.0	1,737.0

注)総面積は、各年の前年10月1日国土地理院調査による (資料)塩竈市統計書

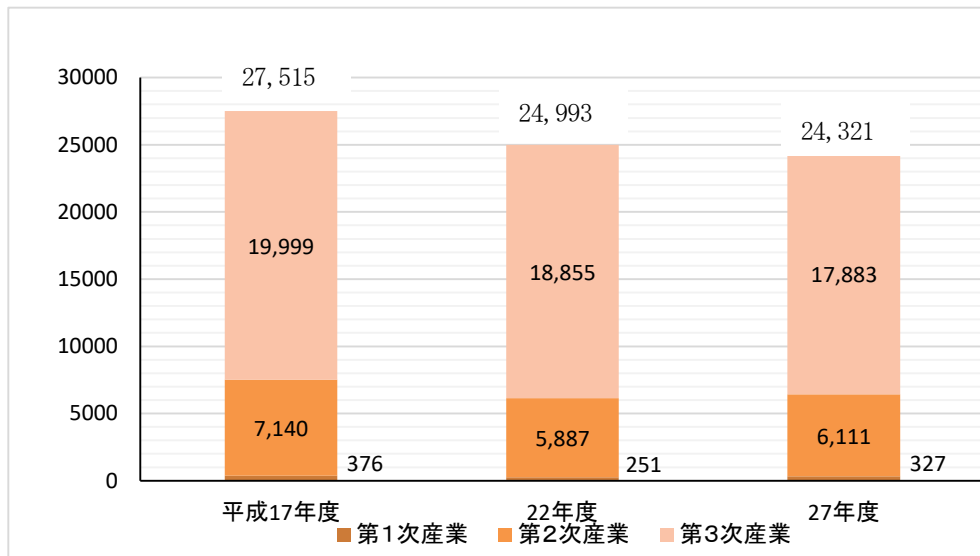
(3) 産業

平成27年国勢調査における産業別就業者総数は24,321人で、第1次産業については327人(1.4%)、第2次産業が6,111人(25.1%)、第3次産業が17,883人(73.5%)となっています。

また、令和元年の経済センサスによる市内民営事業所は、2,849事業所となっています。

※令和元年度の経済センサス基礎調査では産業別調査は未実施。[氏家1]

〔産業別就業者数の推移〕(国勢調査 各年 10月1日現在)



◆民営事業所数・従業員数の推移〔氏家2〕

(単位:事業所、人)

産業別	平成21年		平成24年		平成26年		平成28年		令和元年	
	事業所数	従業員数	事業所数	従業員数	事業所数	従業員数	事業所数	従業員数	事業所数	従業員数
第1次産業	8	131	6	185	11	206	12	214	-	-
①農林漁業	8	131	6	185	11	206	12	214	-	-
第2次産業	552	5,501	465	5,284	504	5,673	478	5,112	-	-
①鉱業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
②建設業	287	1,521	241	1,383	264	1,632	250	1,463	-	-
③製造業	265	3,980	224	3,901	240	4,041	228	3,649	-	-
第3次産業	2,647	15,378	2,082	13,680	2,261	15,463	2,125	13,559	-	-
①電気・ガス・水道業	3	59	1	43	4	65	-	-	-	-
②運輸・通信業	87	1,808	78	1,672	76	1,466	77	1,537	-	-
○情報通信業	10	42	7	28	7	36	7	39	-	-
○運輸業	77	1,766	71	1,644	73	1,430	70	1,498	-	-
③卸売業・小売業	1,055	5,415	826	4,647	854	4,535	799	4,116	-	-
④金融・保険業	53	597	49	568	47	521	50	537	-	-
⑤不動産業・物品賃貸業	235	413	198	381	192	384	178	342	-	-
⑥サービス業	1,214	7,086	930	6,369	1,088	8,492	1,021	7,027	-	-
○学術研究、専門・技術サービス業	88	392	78	363	79	371	73	385	-	-
○宿泊業・飲食サービス業	413	1,734	250	1,318	348	1,576	340	1,575	-	-
○生活関連サービス業・娯楽業	298	1,032	230	845	229	796	219	781	-	-
○教育・学習支援	101	436	85	389	100	952	68	330	-	-
○医療・福祉	152	2,512	147	2,566	179	3,665	168	2,885	-	-
○複合サービス業	21	157	15	116	17	283	15	273	-	-
○その他サービス業	141	823	125	772	136	849	138	798	-	-
合計	3,207 (3,271)	21,010	2,553 (2,728)	19,149	2,776	21,342	2,615	18,885	2,849	-

注)平成21年は経済センサス・基礎調査、平成24年・26年・28年は経済センサス・活動調査、令和元年調査は産業別及び従事者数は未実施。
〔氏家3〕

平成16年事業所・企業統計調査から産業分類が一部改定、平成21年経済センサス・基礎調査から産業分類が一部改定事業所数合計の()内の数値は、事業内容等不詳を含む事業所数。

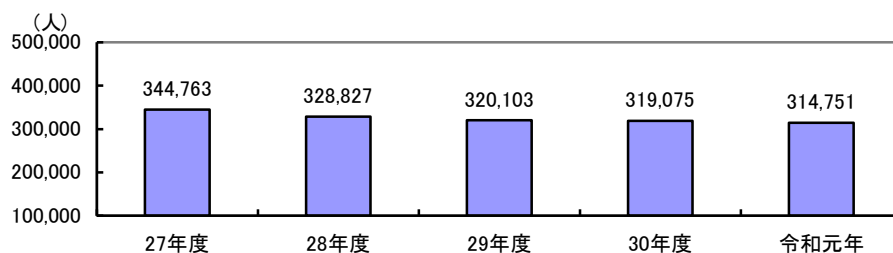
(4) 交通

① 市内循環バスの利用状況

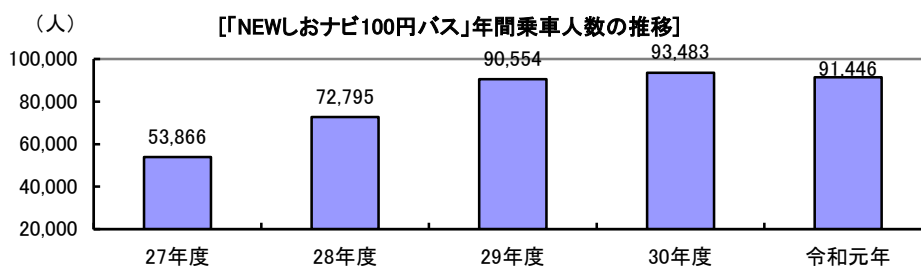
市内循環バスは、公共施設やJR各駅などを結び、日常生活の利便性を図ることを目的として、昭和63年から運行が始まりました。

また、平成22年2月から、市内循環線バス「しおナビ100円バス」の空白地域への交通機関として、「NEWしおナビ100円バス」の運行を開始しました。また、平成28年7月から北西部・南西部・北東部コースの試験運行を開始し、平成29年4月から本格的な運航に移行しました。また、平成29年5からはより分かりやすい運行を図るため、新ルート便に青色の新車両を導入しました。

【市内循環バス「しおナビ100円バス」年間乗車人数の推移】



【「NEWしおナビ100円バス」年間乗車人数の推移】



◆市内循環バス「しおナビ100円バス」乗車人数の推移

区分	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	令和 元年度
乗車人数 (人)	344,763	328,827	320,103	319,075	314,751
経常収益 (千円)	29,671	28,931	28,245	28,066	27,441
助成額 (千円)	9,812	13,209	16,320	17,753	19,645

◆「NEWしおナビ100円バス」乗車人数の推移

区分	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	令和 元年度
乗車人数 (人)	53,866	72,795	90,554	93,483	91,446
運賃収入 (千円)	5,281	7,085	8,833	9,114	8,854
運行委託費支払額 (千円)	3,447	10,550	11,632	11,351	11,722

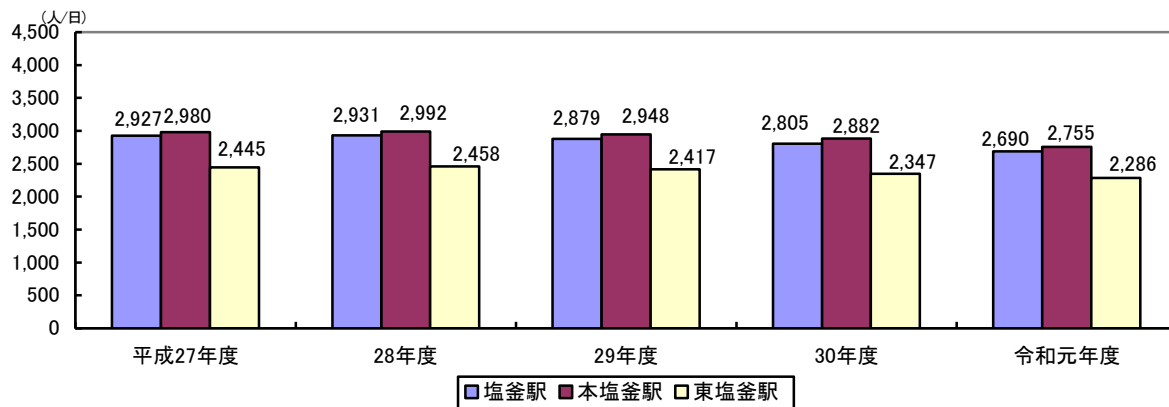
(資料) 塩竈市政策課

② 市内JR各駅乗車人員の推移

市内には、JR 東北本線の塩釜駅と、JR 仙石線の本塩釜駅、東塩釜駅、西塩釜駅の4駅があります。

各駅の1日当たり乗車人員は若干減少傾向にあります。

〔市内JR駅1日当たり乗車人員の推移〕



◆市内JR駅1日当たり乗車人員の推移

(単位: 人)

駅名	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
塩釜駅	2,927	2,931	2,879	2,805	2,690
本塩釜駅	2,980	2,992	2,948	2,882	2,755
東塩釜駅	2,445	2,458	2,417	2,347	2,286
合計	8,352	8,381	8,244	8,034	7,731
西塩釜駅	-	-	-	-	-

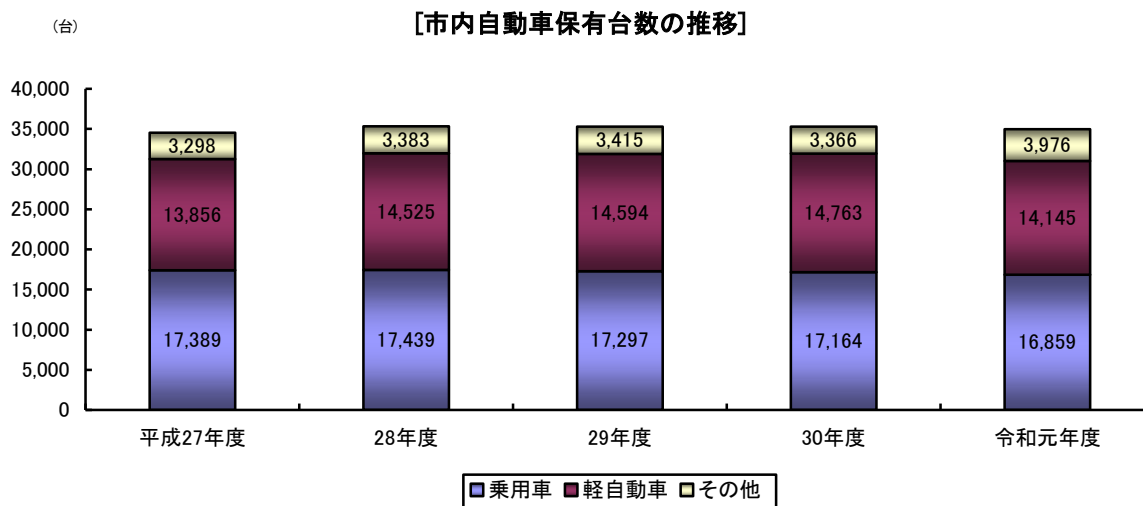
注)平成18年度以降西塩釜駅は非公表

(資料)東日本旅客鉄道株式会社HP

③ 市内自動車保有台数の推移

自動車保有台数は、保有台数の合計は若干減少傾向で推移しています。

令和元年度は自動車のうち、乗用車と軽自動車の車種は減少しておりますが、貨物自動車等のその他は増加しています。



◆市内自動車保有台数の推移

(各年度末現在 単位:台)

車種	平成27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
乗用車	17,389	17,439	17,297	17,164	16,859
軽自動車	13,856	14,525	14,594	14,763	14,145
その他	3,298	3,383	3,415	3,366	3,976
合計	34,543	35,347	35,306	35,293	34,980

(資料)東北運輸局HP